

「かごしま未来創造ビジョン」と大隅地域の取組方針との関係

「鹿児島」の目指す姿

「鹿児島に生まれてよかった。鹿児島に住んでよかった。」と実感できる鹿児島

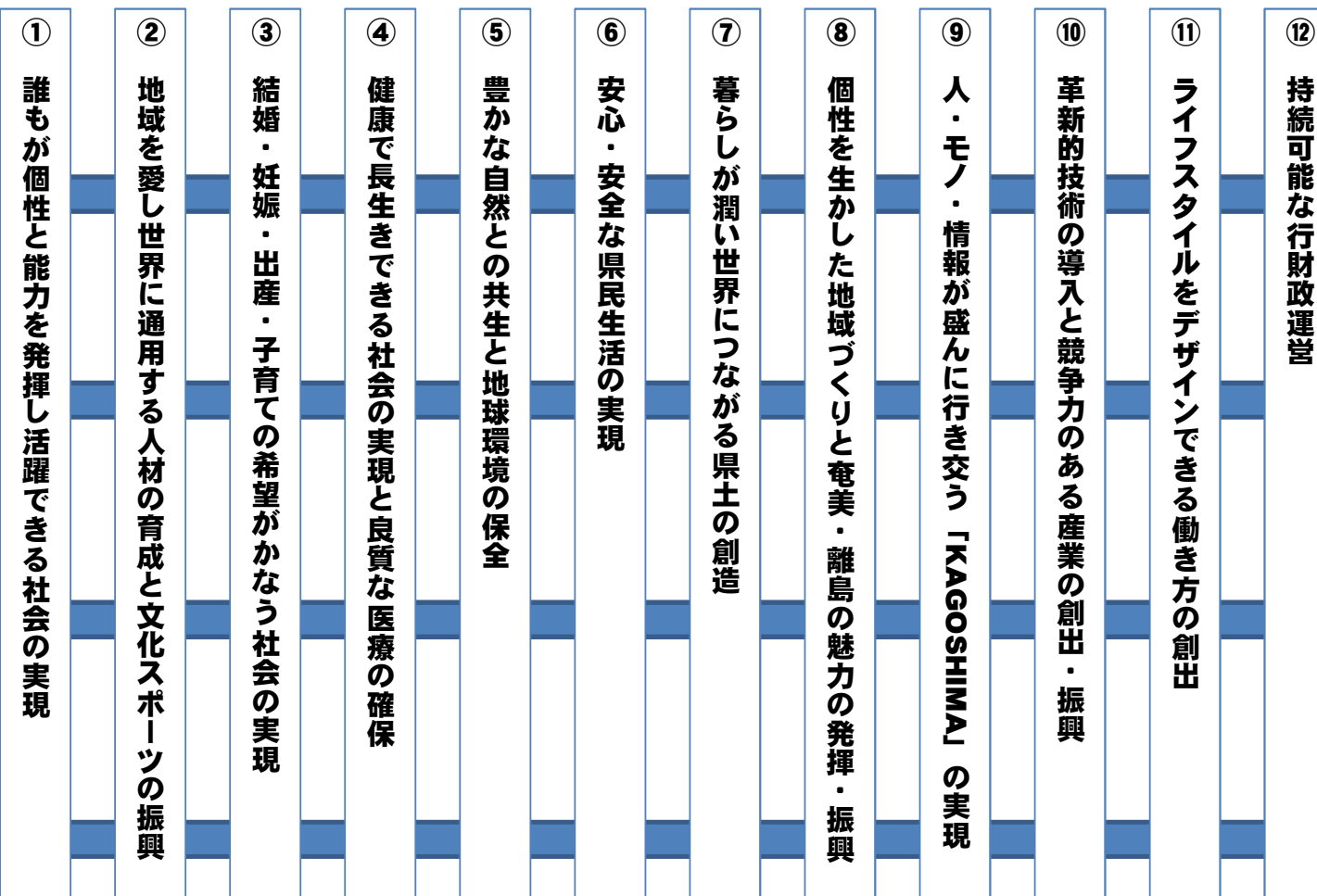
ひとが輝く鹿児島
地域に誇りを持ち多彩な個性と能力を発揮

ひとが潤う鹿児島
(どこよりも幸せを実感)

ひとを魅了する鹿児島
元気な産業と世界に選ばれる逸品を創出

鹿児島のポテンシャル

- ① 魅力ある観光資源
- ② 多様な「日本一」を誇る鹿児島
- ③ 成長著しいアジアに近接した地理的優位性
- ④ 南北600キロメートルに広がる豊かな自然
- ⑤ 個性ある歴史と多彩な文化
- ⑥ 南の風土に培われた資質に富んだ人材
- ⑦ 優しく温もりのある地域社会
- ⑧ 地域資源等を活用した個性ある産業
- ⑨ 豊富な「ウェルネス」(健康・癒やし・長寿)素材



「かごしま未来創造ビジョン」における施策

「おおすみ」の目指す方向性(案)

検討中

生かそう「おおすみポテンシャル」(案)

- ① 知る人ぞ知る照葉樹林、海岸線などの景勝地と歴史資産
- ② 売り場が形成できる農林水産品
- ③ 森が育む豊富な水資源と水力発電
- ④ 地域内循環する豊富な再生可能エネルギー
- ⑤ マイナスをプラスに換える地域の知恵(廃校、空き家、廃棄物)
- ⑥ さんふらわあによる関西との太いパイプ

浸ろう「おおすみウェルネス」(案)

- ① 緑豊かな大地で育った新鮮な食材をその場で満喫することができる「食のウェルネス」【新鮮近食、素材満喫】
- ② 出会った人が声をかけてくれる、誰もが見守ってくれる心温まる「安心のウェルネス」【近隣見守、安心生活・老後】
- ③ 体育大学、最先端のトレーニング施設、健康関連施設などが身近にある「スポーツ・健康・長寿のウェルネス」【先端運動、知見波及、健康長寿】
- ④ 深緑や青い海、静寂を五感で感じられる「自然・癒やし・観光のウェルネス」【深緑森林、群青海洋、潮風街道、静寂癒地】

「おおすみ」地域の取組方針(案)

「おおすみ」の魅力を発信、知ってもらい、「おおすみ」の価値を高める

「おおすみ」の多様なひとをつなぐ、育てる、役割づくり、活躍の場づくり

「おおすみ」の基盤をつくる、基盤を生かす

「おおすみ」で安心して暮らす、始める、働く

12分野を横断して「おおすみ地域の取組方針」として取り組んでゆきます

大隅地域の取組方針骨子（案）

生かそう「おおすみポテンシャル」	浸ろう「おおすみウェルネス」(案)
① 知る人ぞ知る照葉樹林，海岸線などの景勝地と歴史資産 ② 売り場が形成できる農林水産品 ③ 森が育む豊富な水資源と水力発電 ④ 地域内循環する豊富な再生可能エネルギー ⑤ マイナスをプラスに換える地域の知恵（廃校，空き家，廃棄物） ⑥ さんふらわあによる関西との太いパイプ	① 緑豊かな大地で育った新鮮な食材をその場で満喫することができる「食のウェルネス」 ② 出会った人が声をかけてくれる，誰もが見守ってくれる心温まる「安心のウェルネス」 ③ 体育大学，最先端のトレーニング施設，健康関連施設などが身近にある「スポーツ・健康・長寿のウェルネス」 ④ 深緑や青い海，静寂を五感で感じられる「自然・癒やし・観光のウェルネス」

「おおすみ」の目指す方向性

検討中

「おおすみ」の現状と課題

社会構造	・ 人口減少や少子高齢化の著しい進行が予想
産業	・ 産業構造は第1次産業に傾斜→特定品目，特定産業への傾斜は取引先が限定されたり，国際環境の激変や病気により大きな痛手を被る可能性大 ・ 耕作放棄地の利活用，農地，林地の集約化が課題 ・ 空き店舗が増加→新規創業者への場の提供，空き店舗の利活用が課題 ・ スポーツ合宿受入は高いシェア→宿泊インフラ，二次交通に乏しく入り込み客，宿泊客数が他地域と比較して少ない
保健・医療・福祉	・ 少子高齢化による疾病構造の変化と，医療・介護の需要増大→地域の医療機能の分化・連携の推進と，医療・介護連携の強化が課題 ・ 高齢化の進行，特に独居高齢者の増加による健康不安の増大や，孤立化の不安→生涯を通じた健康づくりの促進，高齢者の社会参加の促進が課題
安全・安心	・ 地域住民の防災意識の高揚・施設の整備など地域に即した防災対策の強化 ・ 行政，地域自治会，ボランティア，NPO，企業など多様な主体が地域づくりの担い手となり，それぞれが連携・協力し，支え合うことで地域に必要なサービスを提供→共生・協働による活力ある地域社会づくり
教育・文化	・ 児童生徒数減少傾向→学校の小規模化が進み，児童・生徒の集団活動の実施や社会性の育成が困難，校舎の更新時期を迎えるなどといった課題 ・ 廃校に伴い，多くの校舎が残存→利活用が課題 ・ 社会教育，文化・スポーツ，コミュニティ等の施設整備は進んだが，更なる利用促進が課題 ・ 芸術・文化鑑賞の機会が少ない。地域に残存している伝統文化が継承困難
社会資本	・ 広域幹線交通網の整備と併せアクセスの強化，域内のネットワークを形成する道路等の整備 ・ 高度経済成長期等に整備された社会資本の老朽化対策
共通	・ 「食」「豊かな自然」といった地域の強みを発揮できていないこと ・ 「おおすみ」が知られていない，PR不足，PR稚拙，アクセス方法少ない（交通，ネットワーク） ・ 全産業で従業者数減少（労働力不足）→担い手確保が課題，高齢者の就業率高く，高校生の県外就職率が高い ・ 各分野のIOT化，AI活用，省力化，作業軽減化，有利販売に向けての販路開拓，マーケティング能力の向上などが課題

「おおすみ」地域の取組方針

「おおすみ」の魅力を発信，知ってもらい，「おおすみ」の価値を高める

- Keyword
- PR，プロモーション，高付加価値化
 - 6次化，アクティビティ，ウェルネス
 - スポーツ，歴史，観光地，コミュニケーション
 - ビジネス，特産品，

「おおすみ」の多様なひとをつなぐ，育てる，役割づくり，活躍の場づくり

- Keyword
- ワークショップ，地域，コミュニティ，話し合い，教育，働き方
 - U/Iターン，人材，受入，他人事，自分事，Work Life Balance，共生・協働
 - 出産，子育て，みんなで，障害者，お年寄り，外国人，ソーシャルビジネス

「おおすみ」の基盤をつくる，基盤を生かす

- Keyword
- 道路，港湾，畑地かんがい，景勝地，観光地，再生エネルギー，再造林，持続可能性

「おおすみ」で安心して暮らす，始める，働く

- Keyword
- 医療，福祉，環境，防災・減災，雇用，移住，受入，他人事，自分事，Work Life Balance，働き方，創業，出産，子育て

主な施策体系

- ひとと「おおすみ」をつなげるきっかけづくり
- 初心者からトップアスリートまで，スポーツを愛する人々が集い，高め，交わる「アスリートのふるさと おおすみ」づくり
- 「食べる」「遊ぶ」「旅する」「癒やす」「治す」「維持する」・素材を生かしてつくる「おおすみウェルネス」
- 「おおすみ」を選んでもらう「暮らし」「産物」「観光」のコンテンツづくりの展開，発信
- 地域の課題や問題を自分のこととしてとらえ自分の役割を考え，解決する次世代育成
- 多様な主体と緩やかな話し合いからはじまる「おおすみ」のネットワークづくり
- 「違いを強みに」個性や能力を，懐深く，寛容な「おおすみ」で育む多様な働き方と多文化共生
- 地域のミッションを明らかにして，外部の力を取り入れながら課題を解決「おおすみ」のコミュニティの形成
- 「おおすみ」の農林水産資源の「質」，「量」，「情報発信」による高付加価値ビジネスへの転換と地域経営体の育成
- 知る人ぞ知る素材や暮らし，人情を生かした「おおすみ」の観光地づくり
- 「おおすみ」の命と暮らしを守り食料供給と産業を支える交通・情報ネットワークの形成と基盤整備
- 多様で豊かな地域資源を育み活用する持続可能な「おおすみ」づくり
- みんなで連携・協働して創る，互いに助け合い，生き生きと暮らせる，誰もが住んでみたい「おおすみ」づくり
- みんなが健康を保ち，病気になっても地域で必要な医療が受けられ，安心して暮らせる「おおすみ」づくり
- 災害に強い安全な「おおすみ」づくり・どこよりも安全で安心して暮らせるコミュニティづくり
- いつでも，どこでも，誰でもスタートできる「おおすみ」のしごと，くらし